

さいたま 来ぶらり通信

Contents

美しき貨幣の世界 造幣さいたま博物館へ	1,2	本棚ぶらり テーマ「お金」	3
第22回現代短歌新人賞／調べものに便利！オンラインデータベース			4

わがまち

はっけん

Sai 発

美しき貨幣の世界



造幣さいたま博物館へ

さいたま市のなかでも比較的新しい見どころと言える、造幣さいたま博物館。こちらには 200 種類にも上る記念貨幣や技巧を凝らした勲章など、目を引く展示がたくさんあります。今回はあまり知られていない貨幣のお話とともに、博物館の魅力をお届けします。

造幣局ってどんなところ？

2021（令和 3）年 11 月、偽造防止効果を高めた新しい 500 円貨幣が発行され、話題になりました。日本で貨幣を製造しているのは独立行政法人造幣局（以下、造幣局）です。造幣局は大阪市に本局、広島市及びさいたま市に支局があり、さいたま支局は 2016（平成 28）年に東京都豊島区からさいたま市大宮区に移転してきました。敷地内には、無料で見学のできる造幣さいたま博物館もあり、平日は、博物館と直結する工場見学通路から、貨幣や勲章の製造工程も見学することができます。

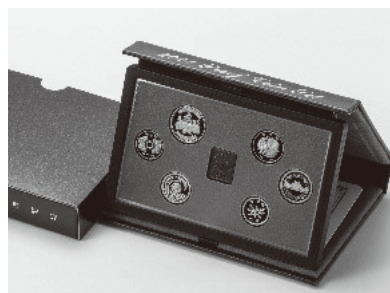
プルーフ貨幣を知っていますか？

造幣局では本局、支局それぞれで、流通貨幣（一般に流通する貨幣）の製造を行っています。製造場所を分散確保しておくことで、不測の事態の際にも貨幣製造を続けることのできる態勢がとられています。

さいたま支局ではプルーフ貨幣を中心に製造するとともに、勲章の製造やアクセサリーなどの貴金属製品の品位証明（製品に含まれる貴金属の純度の割合を分析する試験を行い、試験に合格した製品に品位証明記号を打刻する）なども行っています。

プルーフ貨幣とは、特殊な技術により、表面（凹部）

に鏡のような光沢をもたせた収集用の貨幣のことです。国内のコレクターからの要望を受け、1987（昭和 62）年から日本でも製造されるようになりました。現在はスタンダードな通常プルーフ貨幣セットのほか、アニメや特撮ヒーローのキャラクターのプルーフ貨幣セットも販売されており、最近では仮面ライダー生誕 50 周年を記念した製品も人気を博したそうです。このプルーフ貨幣も流通貨幣と同様に使用することができます。



通常プルーフ貨幣セット〔年銘板（有）〕。500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円それぞれのプルーフ貨幣と製造年入りのメダル（純銅製年銘板）が専用ケースに収納されている。

豆知識

貨幣の再利用

汚れや摩耗がひどくなった貨幣は、市中銀行で新しいものと交換できる。市中銀行から日本銀行に戻された貨幣は、造幣局に送られ、溶かして再利用される。

造幣さいたま博物館の見どころ

館内には、日ごろ目にする機会の少ない貴重な展示物が数多くあります。ここではその一部を紹介します。

日本の記念貨幣

文字通り、記念になるような国家的な行事や出来事があったときに発行されるのが記念貨幣です。1964（昭和 39）年発行の東京オリンピック記念貨幣に始まり、これまで 200 種類以上の記念貨幣が製造されてきました。館内にはそれらのほぼすべてが展示されています。記念貨幣の素材は銀や銅（純銀や白銅も含む）が主ですが、純金で製造されているものもあり、展示ケースのなかでもひととき輝いて見えます。近年、パッド印刷という方法を利用して色をつけた記念貨幣（カラーコイン）も製造されるようになり、新たなファンを獲得しているそうです。



地方自治法施行 60 周年を記念し、2008（平成 20）年から 8 年間かけて各都道府県の記念貨幣が製造された。上の写真は埼玉県のもの。渋沢栄一（左、直径 40 mm）と埼玉スタジアム 2002（右、直径 26.5 mm）が刻まれた 2 種類がある。コレクター心をくすぐるシリーズである。

参 考 資 料

『日本の記念貨幣』 独立行政法人造幣局 2019 年
『独立行政法人造幣局さいたま支局のご案内』
独立行政法人造幣局さいたま支局 2020 年

勲章・褒章



文化勲章

勲章・褒章は、国や公共に対して功労のある方やさまざまな分野で優れた行いのある方に授与されるものです。展示された勲章・褒章の美しさは思わず息をのむほどです。



工場内の勲章製造の様子。勲章・褒章は造幣局の熟練の職員たちによって、一つひとつ手づくりされている。工場見学の際にタイミングが合えば、見学通路からガラス越しに製造の様子を見ることが出来る（博物館休館日を除く平日）。

豆知識

高度経済成長と外国貨幣

国内の流通貨幣の製造量は、高度経済成長期にピークを迎えた。高度経済成長期には自動販売機が普及したり、勤め人への給料の現金手渡しが一一般的であったりしたため、貨幣の需要が高まったのである。その後徐々に製造量は減少したものの、貨幣製造技術の維持・向上や国際協力を図る観点から、国内の流通貨幣の製造に支障のない範囲で、外国貨幣の製造を受注し、生産を行うようになった。写真は 2007（平成 19）年に戦後初めて造られた外国貨幣「1 ニュージーランド・ドル記念銀貨幣」である。館内には、これまでに造幣局で製造されてきた外国貨幣の数々も展示されている。



取材協力・写真提供：独立行政法人造幣局さいたま支局

造幣さいたま博物館 <https://www.mint.go.jp/>
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1 丁目 190 番地 22
TEL 048-645-5899（祝日を除く月～金曜日）
TEL 048-645-5990（土・日曜日、祝日）
開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）
休館日 毎月第 3 水曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）



※博物館休館日を除く平日は見学通路から工場を見学できますが、時間帯や業務の都合などにより見られない場合もあります。

※臨時休館や団体での見学の手続きなどの情報はホームページや電話でご確認ください。

本棚 ぶらり

テーマ
お金



『お金の流れでわかる世界の歴史』

おおむらおおじろう

大村大次郎／著

KADOKAWA 2015年



国の興亡には一定のパターンがあるという。強国は財政システムや徴税システムなどが整備されているが、国の崩壊は、富裕層が特権を作って税を逃れ、そのしわ寄せが中間層以下に向かったときに引き起こされる。例えば古代ローマ。官僚による脱税とインフレにより一部の特権階級だけが財を成し、市民の生活がますます破綻して滅ぶことになった。世界史の大きな流れを「お金」の視点、さらには税と国家財政の視点から見ているのが新しい。他にも「エジプト王朝は徴税システムが整っていたため、3,000年もの長期にわたり繁栄した」「イスラム帝国は税が安く、侵攻した国から撤退の際は税を還付していた」など、あまり知られていないエピソードも面白い。

『スタバではグランデを買え！』

よしもとよしお

吉本佳生／著

ダイヤモンド社 2007年



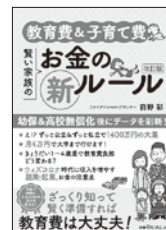
インパクトのあるタイトルの本書は、エコノミスト・著述家として多方面で活躍する著者の代表的な一冊。例えばお茶は、自動販売機では150円、スーパーでは88円、100円ショップでは108円と、同じモノが違う価格で売られているのはなぜなのか。一方で、100円ショップのように、違うモノが同じ価格で売られている理由は。読み進めると、「スタバではグランデを買え」という言葉の真意はモノそのものではなく、多様なコストが鍵を握ることがわかる。そもそもコストとは何か、価格はどうやって決まるのか。個々の消費行動の多様化が進む今、消費者として何を大切に考えてモノやサービスを選ぶべきかを改めて考える機会となりそうだ。

『教育費&子育て費 賢い家族のお金の新ルール』改訂版

まえのあや

前野彩／著

日経BP 2020年



社会や経済の変化をはじめ、結婚、出産、子育てなど人生の転換期でお金について考える人は多いだろう。総額を計算すると不安になりがちな教育費や子育て費を賢く準備するにはどうすればいいのか。本書には幼保無償化や私立高校の実質無償化、昨今の働き方の変化を踏まえたお金の情報が満載。働く女性が増えた今、夫の収入だけでなく妻の収入にも着目して収入パターン別に家計管理のアドバイスがなされており、我が家はどのパターンなのかを考えながら読むことができる。専業主婦か共働き家庭か、私立か公立か、繰上げ返済か住宅ローン控除か、親世代と今の世代の主な違いは何か、など様々な比較が盛り込まれ、未来を見据えて頑張る子育て世代に人生の選択肢を増やしてくれる一冊。

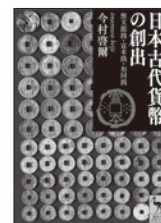
『日本古代貨幣の創出』

無文銀銭・富本銭・和銅銭』

いまむらけいじ

今村啓爾／著

講談社 2015年



奈良県の飛鳥池遺跡で出土した「富本銭」は、発掘調査の結果、鑄造年代が700(文武4)年以前に遡ることが確認され、日本最古の貨幣の可能性が極めて高いことが1999(平成11)年に発表された。今まで日本最古の貨幣と言えば「和同開珎」とされており、富本銭の発見はこの定説を覆すものであった。しかし、本書では富本銭もむしろ最古ではなく、まじない銭あるいはただの銀塊と考えられていた「無文銀銭」こそが日本最古の貨幣ではないかと説く。では無文銀銭とは何なのか。富本銭の歴史的な発掘をもとに、貨幣誕生についての謎を解明していく。



現代短歌新人賞

さいたま市が主催し、市民の文学活動の充実と日本現代短歌界の振興を目的に、歌壇に新風をもたらす歌人を表彰してきた「現代短歌新人賞」。その第22回受賞作が山木礼子さんの『太陽の横』(短歌研究社 2021 年刊)に決まりました。

受賞作品や選考過程については、雑誌「歌壇」2022 年 3 月号(本阿弥書店)に記事が掲載されました。さいたま市図書館で所蔵していますので、ぜひご覧ください。

「若い女性の歌がきわだつ時代。社会人として仕事を持ちながら、育児にいそむ歌も、その苦闘する葛藤を掘り下げた、新しいタイプが出現する。男性社会へのきびしい批判が顕在した受賞作は、まさしく現代の歌である。」

(選考委員長講評 さいたま市ホームページより)



『太陽の横』
やまき れいこ
山木礼子／著
短歌研究社
2021 年



調べものに便利！オンラインデータベース

図書館のカウンターでこんな相談を受けることがあります。
「学校の宿題で、古い新聞記事を探したい。でも、いつ頃の新聞に載っているか全くわからない。新聞の縮刷版を 1 ページずつめくって探さないといけないの？」

そこで活躍するのが新聞記事データベース。図書館にある専用のパソコンで、新聞記事を「キーワード」で検索することができます。例えば、紙幣のデザイン変更の変遷を調べたいときは、「紙幣 デザイン」や「紙幣 変更」などのキーワードを入力すると、紙幣のデザイン変更に関する記事が、古いものから現在まで一覧で表示され、記事本文を閲覧することができます。印刷(有料)も可能です。

(注) 新聞記事データベースは、さいたま市図書館の一部の館で導入しています。データベースの種類によって、収録範囲や検索可能範囲は異なります。



さいたま市図書館では、新聞記事データベース以外にも、官報や法律情報、企業情報などを調べるデータベースを導入しています。データベースの詳しい内容や導入館は、さいたま市図書館ホームページをご覧ください。

<https://www.lib.city.saitama.jp/contents?pid=13>



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<https://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <https://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下の二次元コードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
美園図書館 764-9610	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町 11-1 TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500

★★編集後記★★

造幣さいたま博物館内のショップでは貨幣にちなんだグッズを買うことができます。

次回発行予定：8月15日(年3回発行)



もっと身近に、
もっとしあわせに



さいたま来ぶらり通信は 2,000 部印刷し、一部あたりの印刷経費は19円です。